

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公表番号】特表2017-513516(P2017-513516A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2017-501094(P2017-501094)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	9/80	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/337	(2006.01)
A 6 1 K	31/282	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
A 6 1 K	31/7068	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	31/44	(2006.01)
A 6 1 K	31/404	(2006.01)
A 6 1 K	31/436	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/4706	(2006.01)
A 6 1 K	31/52	(2006.01)
A 6 1 K	31/351	(2006.01)
A 6 1 K	31/4178	(2006.01)
A 6 1 K	31/35	(2006.01)
A 6 1 K	31/475	(2006.01)
A 6 1 K	31/352	(2006.01)
A 6 1 K	31/155	(2006.01)
A 6 1 K	31/05	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 N	9/80	Z N A Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/337	
A 6 1 K	31/282	
A 6 1 K	31/675	
A 6 1 K	31/7068	
A 6 1 K	33/24	

A 6 1 K 31/44
A 6 1 K 31/404
A 6 1 K 31/436
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 35/02
A 6 1 K 31/4706
A 6 1 K 31/52
A 6 1 K 31/351
A 6 1 K 31/4178
A 6 1 K 31/35
A 6 1 K 31/475
A 6 1 K 31/352
A 6 1 K 31/155
A 6 1 K 31/05

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月16日(2018.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1微生物に由来するADIタンパク質の触媒ドメイン及び第2微生物に由来するADIタンパク質のヘリックスドメインを含む、組換えキメラアルギニンデイミナーゼ(ADI)。

【請求項2】

第1微生物が、Mycoplasma gallinarum、Mycoplasma iners、及びMycoplasma columbinumから成る群から選択され、第2微生物が、Mycoplasma gallinarum、Mycoplasma iners、及びMycoplasma columbinumから成る群から選択される、請求項1に記載の組換えキメラADI。

【請求項3】

第1微生物がM. gallinarumであり、第2微生物がM. columbinumである、請求項2に記載の組換えキメラADI。

【請求項4】

第1微生物がM. gallinarumであり、第2微生物がM. inersである、請求項2に記載の組換えキメラADI。

【請求項5】

第1微生物がM. columbinumであり、第2微生物がM. inersである、請求項2に記載の組換えキメラADI。

【請求項6】

第1微生物がM. inersであり、第2微生物がM. columbinumである、請求項2に記載の組換えキメラADI。

【請求項7】

第1微生物がM. columbinumであり、第2微生物がM. gallinarumである、請求項2に記載の組換えキメラADI。

【請求項8】

第1微生物がM. inersであり、第2微生物がM. gallinarumである、

請求項2に記載の組換えキメラA D I。

【請求項9】

組換えキメラA D Iが、配列番号：5 5、5 6、3 5、5 8、3 4若しくは5 9のいずれか1つに示すアミノ酸配列、又はそれと少なくとも90%の配列同一性を有するバリエントを含む、請求項2に記載の組換えキメラA D I。

【請求項10】

少なくとも1つのリジン残基が、アミノ酸置換により修飾されている、好ましくは、少なくとも5つ、少なくとも10、少なくとも15、又は少なくとも20のリジン残基が、アミノ酸置換により修飾されている、請求項1～9のいずれかに記載の組換えキメラA D I。

【請求項11】

生体適合性リンカーにより、1又は2以上のポリエチレングリコール分子、約1～約10のポリエチレングリコール分子、又は約5±3のPEG分子に共有結合する、請求項1～10のいずれかに記載の組換えキメラA D I。

【請求項12】

ポリエチレングリコールが、約1,000～約40,000、好ましくは約10,000～約30,000の総重量平均分子量を有する、請求項1～10に記載の組換えキメラA D I。

【請求項13】

生体適合性リンカーが、スクシニル基、アミド基、イミド基、カルバメート基、エステル基、エポキシ基、カルボキシル基、ヒドロキシル基、炭水化物、チロシン基、システイン基、ヒスチジン基、メチレン基、又はこれらの組み合わせを含む、請求項1～10に記載の組換えキメラA D I。

【請求項14】

スクシニル基の供給源が、スクシンイミジルスクシネットである、請求項1～10に記載の組換えキメラA D I。

【請求項15】

請求項1～10のいずれかに記載の組換えキメラA D Iをコードするポリヌクレオチド。

【請求項16】

請求項1～10に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

【請求項17】

請求項1～10に記載のベクターを含む単離宿主細胞。

【請求項18】

請求項1～14のいずれかに記載の組換えキメラA D I及び生理学的に許容される担体を含む組成物。

【請求項19】

癌を処置する、その症状を改善させる、又はその進行を阻害するための薬剤の製造における、請求項1～18に記載の組成物の使用。

【請求項20】

癌が、黒色腫、臍臓癌、前立腺癌、小細胞肺癌、中皮腫、リンパ性白血病、慢性骨髓性白血病、リンパ腫、肝細胞癌、肉腫、白血病、急性骨髓性白血病、再発性急性骨髓性白血病、乳癌、卵巣癌、結腸直腸癌、胃癌、神経膠腫、多形性膠芽腫、非小細胞肺癌（NSCLC）、腎臓癌、膀胱癌、子宮癌、食道癌、脳癌、頭頸部癌、子宮頸癌、精巣癌、及び胃癌から成る群から選択される、請求項1～19に記載の使用。